

# 大南の軌跡

武蔵村山市立 小中一貫校  
大南学園第七小学校  
学校だより NO11  
令和7年1月8日

「2025年・令和7年・巳年」

武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

校長 川口 周作

新年あけましておめでとうございます。

12月中旬頃から、インフルエンザ等が全国的に流行し、年末年始に発熱等の体調不良であったという方が多かったのではないのでしょうか。本校でも、5年生の3クラスが2学期の終業式直前に、インフルエンザ様等疾患による学級閉鎖となりました。学校生活においては、引き続き「手洗い・換気」などの声かけを行います。また、体調不良時は無理せずに登校を控え、栄養補給や休養等を取り体調の回復に努めていただくことも重要です。

さて、本日の3学期始業式では以下のような話をしました。

令和7年・2025年が始まりました。冬休み中、怪我や病気などはありませんでしたか。

冬休みは日本の伝統文化に気付く・知る期間でもありました。大晦日、大掃除、お正月、おせち、初日の出などです。

また、新しい年は、巳年とも言われます。巳年生まれは、6年生の早生まれの皆さんや5年生の4月から12月までに生まれた皆さんです。

へびは、脱皮を繰り返して成長する様子から、復活や再生、変化、成長の象徴とされています。そのため、2025年は「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」といった意味合いがあり、再スタートや変化のチャンスに恵まれる年とされています。

さて、3学期は、次の学年の準備期間でもあります。4月には、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、6年生は中学生になります。学習する中で疑問を見つけるなどの自分の発見を増やしていくこと。また、学校生活での約束やルールを守ることや、先生やクラスの仲間への言葉の使い方にも気を付けていきましょう。

世の中では、社会情勢や経済においてなかなか良い話題を聞くことが少ないです。着実に進歩しているAI関連は、5年前や10年前に比べて私たちの生活に関連しているものが増えてきています。スマートフォンなどによる電化製品の操作やレストラン等での注文などです。小学校での教育活動は、10年後や20年後の未来を生きていく子供の育成を目指した学習活動がほとんどです。

そこで、「不易流行」という言葉の通り、どちらも大切にするという思いをもって、2025年も保護者の皆様や地域の皆様と共に子供たちを育てなければ幸いです。

3学期もどうぞよろしくお願いたします。